

今野 孝嶺 希望

放課後児童クラブの昼食提供

【問】近年、保護者の弁当作りの負担軽減等を目的に、昼食の提供に取り組む自治体が増えている。夏季休業期間中は食中毒のリスク低減にもなる。長期休業期間中の昼食提供はできないか。

【答】予約管理と個数調整、代金の徴収管理、アレルギーの対応や食べ残しの処理等に対応する職員体制の見直し、厨房設備や保管設備の整備等、多くの課題があるため、他自治体の先進事例を参考に研究していきたい。

スポーツ少年団及び中学校部活動の送迎

【問】スポーツ少年団や中学校の部活動では、児童生徒数の減少に伴い、学校から離れた場所で活動するケースが少なくない。児童生徒の移動や保護者の送迎を支援する考えはあるか。

【答】スポーツ少年団及び中学校部活動等には各種大会出場経費への補助金等により、支援を行っているが、活動が広範囲に及ぶことや支援にかかる経費等の課題もあり、送迎については保護者の責任により行っていたと考えると考えている。市としては、実態調査をすることにも、今後とも支援を継続することにより保護者の負担軽減に努めていきたい。

その他の質問事項

- 水稲栽培の省力化
○熊を誘引する樹木の伐採費用の助成

阿部 誠 青松・公明党

生成A-1の活用

【問】民間企業でもどのような活用の仕方ができるのか、日々研究を重ねられている。行政においても職員の事務作業の効率化、省力化のために利用を促進して欲しいと考えるが、市の考えは。

【答】昨年度に生成A-1の活用に向けた運用手順を定め、効果的な利用方法や注意点を明記したチャットGPT利用の手引を作成し、一部事務で使用しているほか、今年度はさらなる活用を図るため、各課の活用事例を取りまとめた生成A-1活用事例集を作成した。今後、効果的な活用方法や活用事例等を共有しながら、職員が使いやすい環境を整えていく。

国、県との人事交流

【問】補助金や助成制度などの情報をいち早くキャッチし、地元企業が利用しやすい環境を整えるため、また職員のレベルアップを図るためにも有効と考えるが、東北経済産業局との人事交流を推進していく考えは。

【答】農林業や木材産業、再生可能エネルギー産業といった能代の特徴や強みを生かした産業のさらなる振興を図ってきたいと考えているが、限られた職員数の中で人員配置を行う必要があることから、東北経済産業局との人事交流については、今後の職員配置の見直しや市の施策の方向性との関係等を十分考慮した上で、慎重に検討していきたい。

その他の質問事項

- 教育機関での業務効率化に向けた取組は
○教育機関での生成A-1の活用をどのように考えているか

菊地 時子 日本共産党

よりよい放課後児童クラブ

【問】指導員に求められる職責の重さに対して処遇が低く、成り手不足、短時間雇用で入れ替わりが激しいなど、継続して子供や保護者と関われない等の課題を抱えているところもある。処遇を改善していく考えは。

【答】公立の放課後児童クラブにおける支援員等は、会計年度任用職員で対応しており、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業費補助金による報酬引上げや人事院勧告により給与改定を行っている。また、民間の放課後児童クラブについても公立の放課後児童クラブに準じて委託料に反映しており、今後とも同様に対応していきたい。

介護保険事業における人材不足

【問】介護人材実態調査から見た課題に、今の介護報酬では人材の確保、定着のために十分な賃金を支払えないとの意見が出ている。厚労省の訪問介護の基本报酬の引下げによる事業所への影響は。

【答】令和6年度の介護報酬改定は全事業平均1.59%のプラス改定となった中で、訪問介護事業の基本報酬は平均2.33%の引下げとなった。一方、加算要件の基準緩和についても示されており、介護職員等処遇改善加算の一本化や口腔連携強化加算の創設、特定事業所加算の見直し等により加算分を見込めることから、全体的に影響は少ないものと考えている。

その他の質問事項

- 国保税、子供の均等割を減額すべきでは